

# 2017年 日本パッケージングコンテスト

## 「電気・機器包装部門」受賞

### 『「衛星通信型テレビ会議用機器」の簡単収納ケース』

国内と海外を結ぶ「衛星通信型テレビ会議システム機器」の収納と搬送を目的として開発した。数種類の製品を一度にコンパクトに収納できる立体緩衝材を採用し航空機の機内持ち込ができるサイズのレイアウト設計をした。緩衝材は伸縮性を活用したはめ込み式により、ケースへの定着性がよく着脱もかんたんである。



# 「衛星通信型テレビ会議用機器」の簡単収納キャリーケース

## 1. 使用方法

- (1) 市販のキャリーケースを活用した新しい包装スタイルで、対象品に合う立体トレイを製作してキャリーケースにセットします。  
 (2) 多品種少量の包装に適していて、使い易く、汎用性があるため、機内持ち込みのリユース・コンテナで採用されました。



## 2. 機器の収納配分(キャリーケース2個で1セット) 3. 立体トレイ構造と収納方法

機器名称	機材	ケース1	ケース2
キャリーケース	3.8	1.9	1.9
緩衝材	1.4	0.6	0.8
①Cisco891・ルータ	2.2	2.2	-
①Cisco891・ルータ	2.2	2.2	-
②lifesize Icon 600・オーディオ	1.4	-	1.4
③lifesize Phone・マイク	1.5	-	1.5
④lifesize Camera・カメラ	1.4	-	1.4
⑤BGAN EXPLOPER・衛星通信	2.9	2.9	-
⑥ポータブモニタ・映像	0.9	-	0.6
⑦ケーブル	2.0	-	2.0
合計 10kg未滿/ケース	19.7	9.8	9.6

\*総質量は、19.7kgで、ケース2個に分け、全ケーブルをケース2に収納することでケース1・2とも機内持ち込み条件10kg未滿にした。

\*限られたスペース内への収納は、機器を複数段に重ねる構造の「立体トレイ」を考案し解決した。

### (1) ケース1の収納



### (2) ケース2の収納

